富士見町子ども未来プロジェクト

町長方針

帰ってきたくなる町づくり



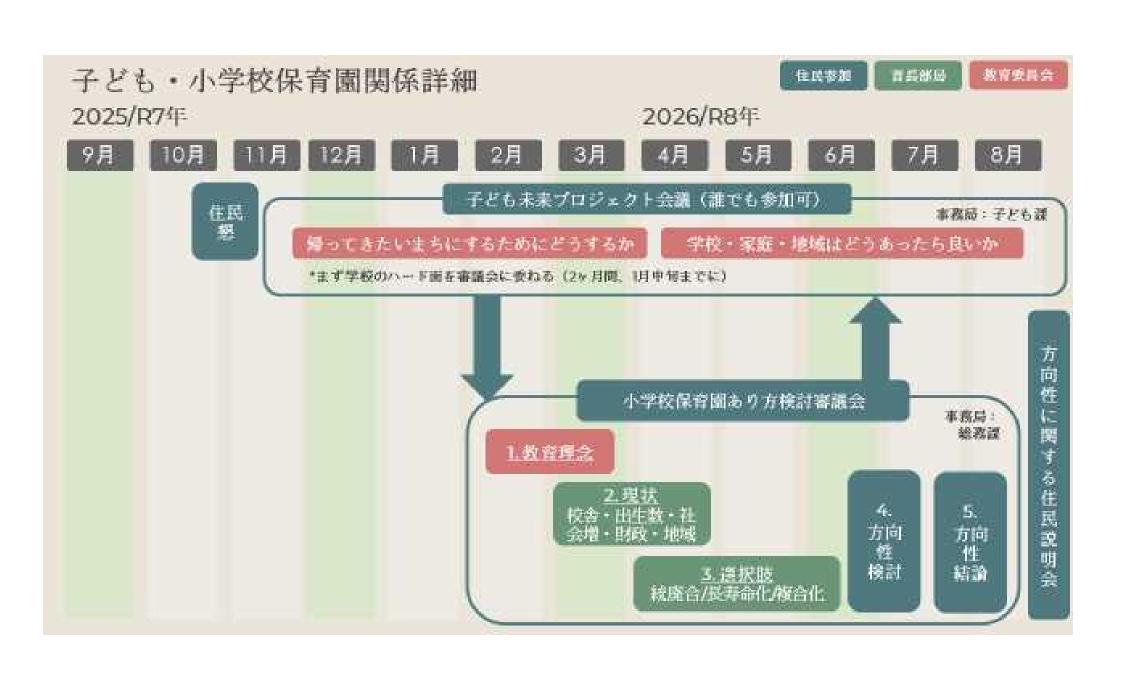
- ◆超少子化時代に向けての教育の在り方の検討
 - 〇出生数は1学年50人前後に(10年前100人以上)
 - 〇小学校は各学校1クラス時代に
 - ○建物の老朽化の問題

富士見町子ども未来プロジェクト会議(仮 称)の設置

超少子化時代に**どのよう な子どもを育てるべきか** 検討 (理念・願い)

願う子どもを**どのよう な環境で**育てるか検討 (環境・方法) どのような環境 を**どこにどのよ うに配置**するか 検討







タイムテーブル



情報共有

願いの共有

情報提供

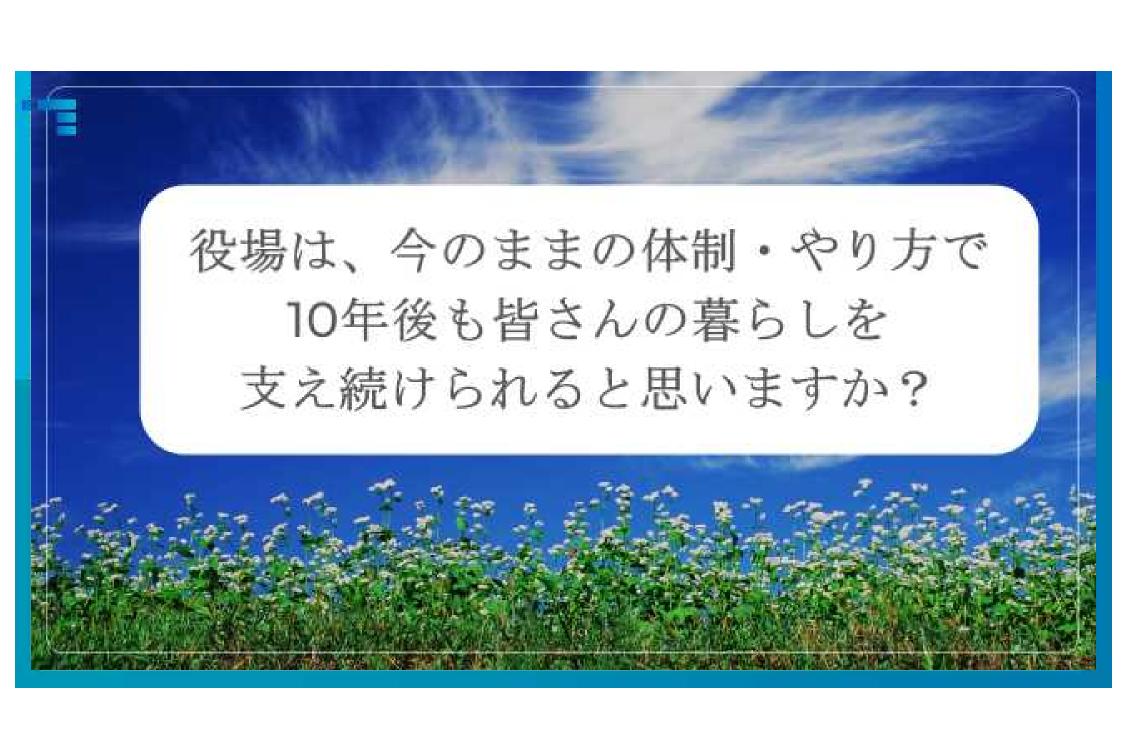
話題提供

グループワーク

富士見町で育ってよかっ たこと、子育てをしてよ かったことを自由に話し 合ってみましょう

成果と課題の共有

次回のテーマを決めましょ





課題①生産年齢人口減による税収減となり手不足



富士見町地球温暖化対策実行計画(区域施策編) 国勢調査および国立社会保障・人口問題研究所



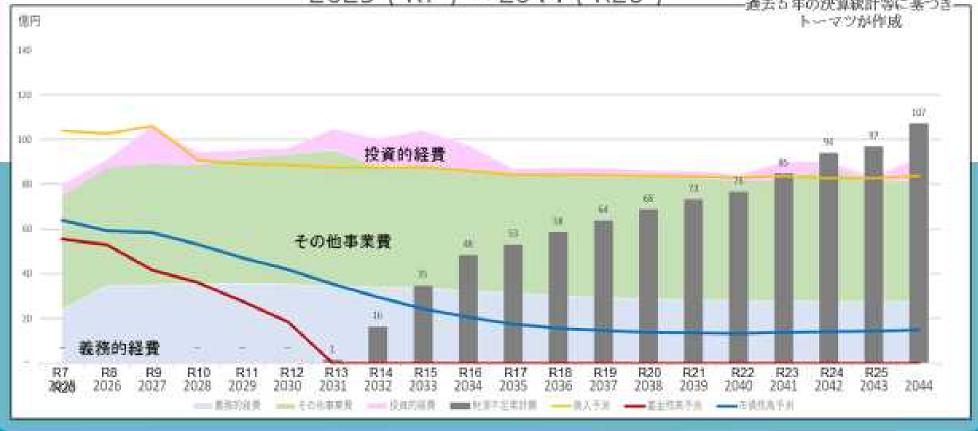


課題③ 行財政改革の必要性



財政シミュレーション 2025 (R7)~2044 (R26)

物価変動・人口推計 富士見町公共施設等総合管理計画 --過去5年の決算統計等に基づき--



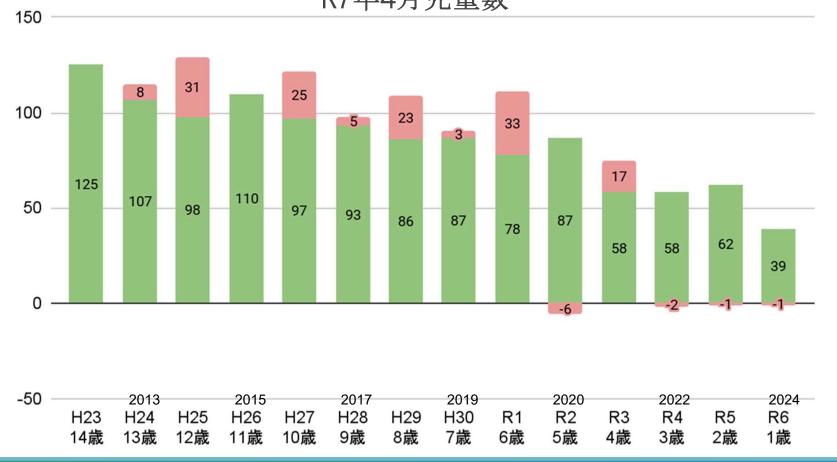
進む少子化

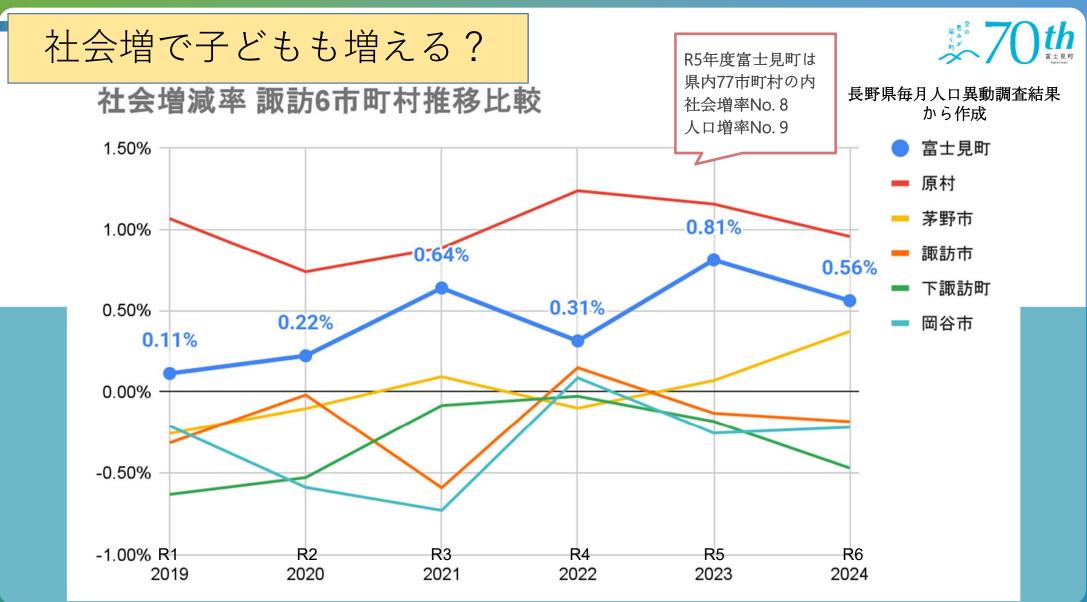


富士見町の毎年の出生数と R7年4月児童数 R7年4月1日時点の 富士見町人口集計表から作成









投資



2. 若い世代が帰りたくなるまちに向けた整備・発信 R8年度町長が計

ターゲットに魅力が伝わる情報発信

(各課統一したプランディングや数値目標含むマーケティング戦略づくりと活用、SNS/画像/動画の活用)

教育

- 首長部局と教育委員 会部局の連携強化
- 小学校3校維持の可能性を住民と検討
- 地域資源を活用した 教育環境の町外への 効果的な情報発信

仕事

- 観光地域づくり推進 (観光協会組織強化)
- 諏訪圏域+北杜市に ある企業の情報発信 に向けた連携
- 創業支援

住まい

- 宅地と物件づくり
- 区加入率向上に向け た取り組み



子育て・教育は学校だけでは完結できない

• 学校依存社会とは? (名古屋大学 内田良氏)

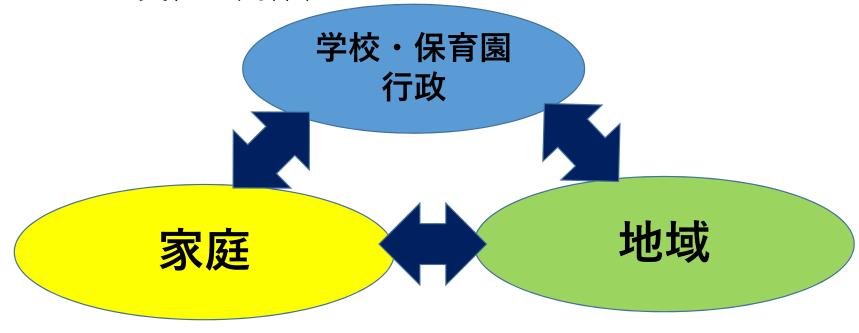
学校の過度な業務負担に依存する形で社会全体が安定的に維持されている状態。学校が子どもの行動や問題に対して責任を持ちすぎているため、家庭や地域社会がその責任を果たせていない状態。(例;万引きの対応)

• 解決策と今後の展望

家庭や地域社会が子どもの教育に対して責任を持ち、学校に 過度な負担をかけないようにすることが求められる。

富士見町のすばらしさを持続可能に

- 子育て教育の素晴らしい環境が、少子化によって持続可能性を 下げてしまう恐れ
- 大切なことは責任と関係性





可能性①本当の豊かさのあるまち







可能性①本当の豊かさのあるまち







可能性①本当の豊かさのあるまち







グループワーク

7:20~8:05 グループワーク

希望 願い 現状 よかったこと 現状 残念 もうちょっと

8:05~8:20 共有

• 8:20~8:30 まとめと次回の見通し

次回 素晴らしい子育て環境を次世代につなぐ

- 学校・保育園はどうあればよいのか
- 家庭はどうあればよいのか
- 地域はどうあればよいのか